

# オンデマンド授業でも相互評価で学生同士の触れ合いを

科目名：芸術学入門

担当教員：石井祐子 准教授（基幹教育院）

形式：オンデマンド型

学年：基幹教育科目

人数：140人

ツール：Moodle、音声資料（mp3）、BookQ

評価方法：レポート、授業コメント等

## Q1. この授業で取り入れられた工夫について、改めて具体的に教えてください

この授業は、事前に行った通信環境に関する受講者アンケート結果を鑑み、オンデマンドで実施しました。講義を収録した音声ファイルと視覚資料をアップする形式で実施しましたが、元々大人数向けの講義科目ということもあり、この形式でも学生は十分に学べるようでした。ただし、オンデマンド授業でも双方向的なやりとりが生まれるように工夫しました。たとえば、Moodleの相互評価機能を使い、学生が毎回の講義聴講後に提出するコメントを相互に評価するという取り組みを行いました。

## Q2. 取り入れた結果、学生の反応はどうでしたか

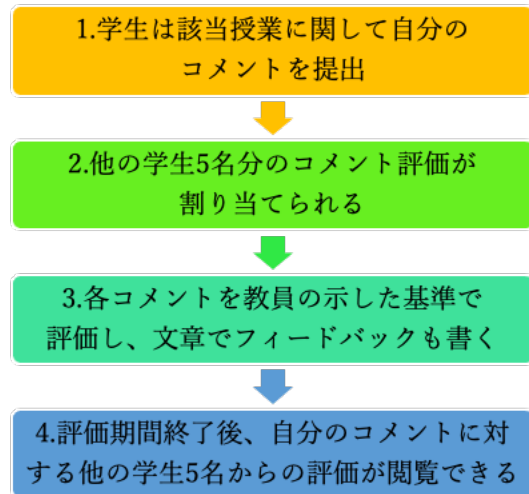
相互評価自体は以前から取り入れていたもので、今回オンライン授業になって初めて導入したものではありません。ですが、学生同士の交流が難しかった今回のオンライン授業の環境下では特に、自分以外の学生の理解度やフィードバックを見ることができるといった点が非常に好評だったように思います。

## Q3. 取り入れるために必要な準備

Moodleの「ワークショップ」の機能を使うと、相互評価の設定を行うことができます。実際に授業の中で使用される際には、Moodleでマニュアルをご覧になると良いと思います。少しややこしい設定なので、初回は学生にも見え方を確認しながら相互評価の仕方を説明しつつ、進められると良いと思います。

## ～インタビュー雑感～

オンデマンド授業において「学生同士の双方向性をどのように実現するか」に対して、1つの回答がこの「相互評価」の活用だと思います。少し教員側の最初の設定が大変そうですが、学生からの評判も良かったようで、私自身も自分のオンデマンド授業で活用してみたいなと思いました。



相互評価の流れ

観点1：  
単なる感想ではなく、授業内容を踏まえて自分なりの考察・意見を述べている

観点2：  
授業の内容をよく聞いて理解し、この課題に誠実に取り組んでいる

相互評価の観点の例